

10月1日
(第230号)
1985/価格50円

平和と平和共存・反対占民主主義・
学生運動統一のために/すべての
民主的学友は民衆に結集しよう。

新時代

民主主義学生同盟中央委員会編集局

東京 電話 03(943)6846
郵便振替 東京1-71320

月2回1日・15日発行
定期購読料(元込)
大阪 電話 06(941)2974
郵便振替 大阪 311420

半年1,000円(密封1,200円)
1年2,000円(密封2,400円)

1%枠突破を示唆

中期防衛力整備計画

所要経費	18兆4,000億円
各年度の平均 GNP比	1.038%
正面装備費	4兆7,500億円
主要調達兵器	85年度完成時 新計画調達量 新計画完成時
P3C対潜哨戒機	49機 50 94
F15戦闘機	115機 63 163
地対空ミサイル 「パトリオット」	0.5群 5 5.5
導入を検討	
超地平線(OTH)レーダー	
新新型ミサイル・システム(エインス)鑑	
次期支援戦闘機(FSX)	

「単年度予算編成で1%枠を尊重した処理ができるくなる場合もあり得る」(加藤防衛長官)といふ発言にも明らかなるよう、今回の決定は「1%枠撤廃を前提とした『計画』であり、1%枠撤廃と「新計画」は表裏一体のものとして存在する。中曾根の「1%枠撤廃は、内実において実現されんとしている。計画内容は、P3C百機F15一八七機の体制確立に代表される、海・空重視の

9・23久保山忌 集会開催さる



日本軍国主義打倒! 北京学生のデモ

「原水爆の被害者は私で最後にしてほしい」――。この言葉を残して、第五福龍丸の乗組員・久保山愛吉さんが亡くなつてから、すでに三十一年。九月二十三日、東京において、「久保山愛吉さんを追悼する平和の集い」が、平和と軍縮をめざす青年の会、豊友会、戦争への道を許さない学生の会、都平連などを含む実行委員会主催の下、開催された。

9・23久保山忌集会開催さる

「原水爆の被害者は私で最後にしてほしい」――。

この言葉を残して、第五福

龍丸の乗組員・久保山愛吉

さんが亡くなつてから、す

ぐローフ漁船が太平洋上で被爆、

核戦争が繰り広げられる契

約がS D Iによって、第一

の無言の証言者として福龍

丸を残し、展示館を建設す

る当時のもう一つ伝える映

像を上映、さらに、東友会、

豊島区議からのアピールが

「日本軍国主義打倒! 靖国神社参拝反対!」をスローガンにデモ行進を行なった。

更に、天安門前広場でも、

自衛隊F15と米軍F16によ

る共同作戦による、ソ連へ

の先制核攻撃、「北方有事」

の際には、北海道・青森に

陸上総数千一百両の戦車の

九割が集中する体制作り等

である。そしてこれらが、

米国防総省直通の、指揮・

統制・通信・情報(C³I)

の実において実現されんとし

ていている。

計画内容は、P3C百機F15一八七機の体制確立に

代表される、海・空重視の

実において実現されんとし

ていている。

計画内容は、P3C百機F15一八七機の体制確立に

代表される、海・空重視の

実

ソ連、「スター・ピース」を提唱(四十周年・国連総会)

ソ連軍縮交渉が行なわれている中、次々と平和提案を行ってきたソ連は、今二ユーヨークで開催中の国連総会の場でも「スター・ピース」計画に対抗してソ

連は国際社会の前に「スター・ピース」構想を持ち出すことを明言した。

この「スター・ピース」構想とは、①戦略核兵器の四〇%削減、②INF(中距離核戦力)相互現状凍結、③相互削減実証のための現地調査、④ASAT(衛星攻撃兵器)実施テストを認めない(実験室での研究は除く)、を基本的な柱としたもの。

世界大戦終結からの、さらには核時代の始まりから四〇年でもある。……四〇周年的今年を平和と正義のスタートの年にしよう。

この中で宇宙軍事化阻止で勢力をあげているのがソ連のシユワルナセ外相だ。このまま第一に「宇宙の非軍事化を前提とした宇宙の平和開発のための国際協力」を総会の議題としてとりあげよう提案。つづいて「不気味な「スター・

行革大綱閣議決定

政府は、七月の臨時行政改革推進審議会の答申に基づき「当面の行政改革の具体化方策」(行革大綱)を決定した。

これは答申が指摘した二五八の項目一つひとつの実施時期を示している。

今年度中に一九八八年、

学官、海外などの科学技術振興である。

全体的には中曾根の戦後

中期的措置(三~五年)一

二項目が実施予定となつて

いる。

第一には、各種許認可の大大きな特徴点は次の三つである。

第二に「安全保障会議」の新設と内閣官房への権力集中、第三に、産業官、海外などの科学技術検討の恒常化をなしきり危機管理体制を掌握する頂点となるものである。

二項目が実施予定となつて

いる。

第一には、各種許認可の大大きな特徴点は次の三つである。

第二に「安全保

障会議」の新設と内閣官房への権力集中、第三に、産業官、海外などの科学技術検討の恒常化をなしきり危機管理体制を掌握する頂点となるものである。

二項目が実施予定となつて

いる。

第一には、各種許認可の大大きな特徴点は次の三つである。

第二に「安全保